

カメちゃんの英文法公式集

文の公式

- ① 主語 + 述語動詞 (自動詞) ※主語は名詞句
- ② 主語 + 述語動詞 (自動詞) + 補語 ※補語は形容詞または名詞句
- ③ 主語 + 述語動詞 (be 動詞) + 補語
- ④ 主語 + 述語動詞 (他動詞) + 目的語 ※目的語は名詞句
- ⑤ 主語 + 述語動詞 (他動詞) + 目的語 + 目的語
- ⑥ 主語 + 述語動詞 (他動詞) + 目的語 + 補語

※主語を省略すると「命令文」になる。その場合の述語動詞は原形

述語動詞の公式

述語動詞 = 助動詞 (+助動詞 +助動詞...) + 本動詞

助動詞の定理

- ① 助動詞および本動詞の活用形は、直前の助動詞によって決定する。
(第1助動詞の活用形は、主語および時制によって決定する)
- ② 助動詞が出現する優先順位
 1. 一般助動詞 will, can, may, must,... 後に続くのは 動詞 / 助動詞の原形
 2. 完了助動詞 have 後に続くのは 動詞 / 助動詞の過去分詞
※「~を持っている」という意味の have (他動詞) と混同しないように注意
 3. 進行助動詞 be 動詞 後に続くのは 動詞 / 助動詞の現在分詞
 4. 受動態助動詞 be 動詞 後に続くのは 他動詞の過去分詞
※ 1つの述語動詞中で使える助動詞は、上の4種類をそれぞれ1つずつだけ
(... will can とか、... can must とかはありえない)

(参考) be 動詞の活用形

原形 (be)、現在形 (am, are, is)、過去形 (was, were)、過去分詞 (been)、現在分詞 (being)

③ 助動詞の融合定理

1. do + 一般動詞原形 ※平叙文では do は省略する
You **(do) get** up at seven. → You **get** up at seven.
2. does + 一般動詞原形 ※平叙文では三単現形に変化する
Your father **(does) have** a car. → Your father **has** a car.
3. did + 一般動詞原形 ※平叙文では過去形に変化する
I **(did) go** to school at eight yesterday. → I **went** to school at eight yesterday.

※助動詞 do, does, did は、本動詞が be 動詞の場合は使えない

文変形の公式 1

- ① 否定文 : 第 1 助動詞の直後に否定副詞 (not, never など) を置く
- ② 一般疑問文 : 第 1 助動詞を主語の前に移動する
- ③ Wh-疑問文 :

Step 1. 問う部分に**疑問詞**を代入する

※主語が疑問詞である (疑問詞が先頭にある) 場合はここで終わり

※Step 1.5 助動詞がない場合は助動詞を復活させる (助動詞の融合定理の逆変換)

Step 2. 全体を疑問文に変形 (文変形の公式②)

Step 3. 疑問詞を文頭に移動

文変形の公式 2 (述語動詞が be 動詞のみの場合)

- ④ 否定文 : be 動詞の直後に否定副詞 (not, never など) を置く
- ⑤ 一般疑問文 : be 動詞を主語の前に移動する
- ⑥ Wh-疑問文 :

Step 1. 問う部分に**疑問詞**を代入する

※主語が疑問詞である (疑問詞が先頭にある) 場合はここで終わり

Step 2. 全体を疑問文に変形 (文変形の公式⑤)

Step 3. 疑問詞を文頭に移動

文変形の公式 3 (受動態構文)

受動態とは、文の公式④、⑤、⑥の、**目的語が主語の位置に移動**したものである。

※もともとあった主語は、消えるか、または**副詞句の一部**として使われる

したがって、受動態の文のパターンは以下の 3 種類になる。

- ④' 主語 + 述語動詞 (他動詞)
- ⑤' 主語 + 述語動詞 (他動詞) + 目的語
- ⑥' 主語 + 述語動詞 (他動詞) + 補語

※述語動詞、文の変形等については、上記の規則にそのまま従う

形容詞の公式

- ① 第1種形容詞：冠詞、形容詞（1語）、分詞（1語）
- ② 第2種形容詞：
 - ②-1 前置詞 + 名詞句
 - ②-2 分詞（+目的語／補語）（+副詞句）
 - ②-3 to-不定詞（+目的語／補語）（+副詞句） ※to-不定詞の形容詞用法
 - ②-4 関係節 ※関係詞の公式参照

名詞句の公式

- ①第1種名詞：
 - ①-1 第1種形容詞（+第1種形容詞 + ...） + 名詞
 - ①-2 名詞 + 第2種形容詞
- ②第2種名詞：
 - ②-1 動名詞（+目的語／補語）（+副詞句）
 - ②-2 to-不定詞（+目的語／補語）（+副詞句） ※to-不定詞の名詞用法
- ③第3種名詞：
 - ③-1 接続詞 + 文 ※文とは、「文の公式」の①～⑥に合致するもの（命令文を除く）
 - ③-2 疑問詞 + to-不定詞（+目的語／補語）（+副詞句）
 - ③-3 関係詞節（先行詞を持たないもの） ※形容詞の公式②-4 および関係詞の公式参照

副詞の公式

- ① 副詞（1語）
- ② 前置詞 + 名詞句
- ③ to-不定詞（+目的語／補語）（+副詞句） ※to-不定詞の副詞用法
- ④ 接続詞 + 文 ※文とは、「文の公式」の①～⑥に合致するもの（命令文を除く）

※「時」を表す副詞（yesterday, tomorrow, next year など）は、パターン②の副詞句から前置詞を省略したと考える

副詞配置の原則

- ① 形容詞、副詞を修飾する副詞は、被修飾語の直前に置く
- ② 動詞句または文全体を修飾する副詞の場合
 1. 文の要素（主語、述語動詞、補語、目的語）を分断する位置に置くことはできない。
※副詞が文の要素の一部である場合と混同しないこと
 2. 頻度を表す副詞（usually, often, sometimes, never など）は、本動詞の直前に置く
※本動詞が be 動詞の場合はその後ろに置く
 3. 上記 2. 以外の副詞は、文末に置く
※文末以外に置く場合は、副詞句の後をカンマ(,)で区切る。

関係詞の公式

※関係詞節が形容詞の働きをする（形容詞の公式②-4）ので、
名詞句 + 関係詞節 ⇒ 名詞句 となる。

第1種関係代名詞

① 主格（～する○○）

○○ + $\begin{bmatrix} \text{who} \\ \text{which} \end{bmatrix}$ + 動詞句

※○○は名詞句

（動詞句については、このページ下の注意書きを確認）

② 目的格（△△が～する○○）

○○ + $\begin{bmatrix} \text{whom} \\ \text{which} \end{bmatrix}$ + △△ + 動詞句

※○○と△△は名詞句

※△△がその後の動詞句の主語になる

※動詞は必ず他動詞で、○○がその目的語にあたる

③ 所有格（(○○の) △△が～する○○）

○○ + [whose] + △△ + 動詞句

※[whose △△] がその後の動詞句の主語になる

関係副詞

④ where（△△が～する○○）

○○ + [where] + △△ + 動詞句

※○○は【場所】を表す名詞句

⑤ when（△△が～する○○）

○○ + [when] + △△ + 動詞句

※○○は【時】を表す名詞句

第2種関係代名詞

※関係詞節自体が名詞句となる。（名詞句の公式③-3 参照）

⑥ 主格（～する [もの・こと]）

[what] + 動詞句

※what がその後の動詞句の主語になる

⑦ 目的格（△△が～する [もの・こと]）

[what] + △△ + 動詞句

※△△がその後の動詞句の主語になる

※重要！

動詞句の構造は、文の公式①～⑥の述語動詞以下の構造規則に従う